

1～7月宿泊 8割持ち直し

観光庁が9月末に発表した「宿泊旅行統計調査」によると、2023年1～7月の三重県の延べ宿泊者数は累計で約387万人泊だった。前年の同時期より10%増え、コロナ禍前の18年や19年の同時期と比較しても約8割まで持ち直した。

だが、他の地域と比べると、回復は緩やかだ。延べ宿泊者数は全国25位と中位だが、前年からの伸び率（前年同期比）では全国平均の42.5%増を大きく下回り、44位にとどまる。

コロナ禍での立ち直りは比較的早かった。21年1～7月は多くの都道府県で前年同期よりも宿泊者数が減る中、三重県は8.8%増の伸び率で11位となり、22年は38.5%増で24位だった。特に21年前半は都市部などで緊急事態宣言が発出された一方、県民限定の旅行支援策があったため、都市部よりも三重県を含む地方で増加傾向にあった。

23年1～7月は新型コロナが感染症法上の5類に移行したことで人の動きが活発になり、沖縄や東京、大阪、京都などで前年同期比7～9割の大幅増加だったのに対し、三重県では宿泊客を十分に取り込めていない。コロナ禍で得た近隣からの客などの新たな客層や急増するインバウンド（訪日客）など、需要はあるはずだ。選ばれる地域になってほしい。

（コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子）

順位		延べ宿泊者数 (人泊)	前年 同期比
1	沖縄県	17,012,700	92.2%
2	東京都	53,462,370	84.4%
3	大阪府	26,179,660	78.0%
4	京都府	16,991,200	72.0%
5	福岡県	10,840,550	57.2%
10	岐阜県	3,639,790	36.6%
26	愛知県	10,267,970	23.9%
44	三重県	3,870,610	10.0%

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む（百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました）」

2023年10月26日